



発行者 **楽しい株式会社**

住所 北九州市若松区向洋町 10 番 1  
北九州エコタウン実証研究エリア内

ハチドリ通心(信)

Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303

2016年2月号

E-mail [ceres@fun-c.jp](mailto:ceres@fun-c.jp) <http://www.fun-c.jp>

## 地域循環圏リサイクルセンター おかげさまで6ヶ月経過

★リサイクル堆肥 13 トン出来ました。



リサイクルセンター



リサイクル堆肥

昨年7月16日に北九州エコタウン弊社敷地内に地域循環圏リサイクルセンターが稼働し、おかげさまで6ヶ月が経ちました。出来た堆肥は、約13トンになりました。枯草菌を主役とした微生物で1次発酵させ、脱塩分・脱油脂をした発酵物をさらに2次・3次発酵させて出来たリサイクル堆肥です。堆肥をご要望の方は、上村まで是非ご連絡下さい。

堆肥になるまでの発酵工程

1次発酵	2次発酵	3次発酵
1週間	1ヶ月	1ヶ月
1次処理機 (MDT-1000)	フレコンバック	切返し作業等
		

リサイクル堆肥を使用されている農園



山岸農園(若松区)



弘川農園(山口県)

★430 名の方が見学に来られました。

12月末まで52組430名の見学者の方にご来場頂きました。北九州市をはじめ鹿児島や島根、海外からは日本の裏側に位置するドミニカ共和国やアルゼンチンからの研修生も来られました。

見学者内訳

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
北九州市内	14	10	17	5	70	6	122
北九州市外	3	2	10	41	66		122
海外	3		1	99	77	6	186
合計	20	12	28	145	213	12	430

海外からの見学風景



マレーシアから 2015.10.1



ベトナムから 2016.1.28

## 循環・3Rシンポジウム ～食品ロス・食品リサイクルの最新動向と 各主体間の連携を考える～

環境省・北九州市・3R活動推進フォーラム主催、平成28年1月15日(金)北九州国際会議場にて開催された循環・3Rシンポジウムの報告をさせていただきます。

参加者数は約100名、北九州市環境局小林局長のご挨拶、基調講演の後、山口県、楽しい(株)、北九州市、京都市の事例発表、弊社松尾社長は、「食品ループの現状と今後の課題」について講演をしました。

その後、パネルディスカッションでは、京都大学名誉教授高月紘氏が座長となり、松尾社長もその中に入って、「制度における課題」「主体間連携」「今後の展望」の3つのテーマに沿って、さまざまな議論がされました。来場者の中には、リサイクル施設をつくるにあたって、国の考え方について質問をされた方もおられました。

弊社の講演内容から、食品ループ事例をご紹介します。



☆楽しい産直市場の今後の展開

楽しい産直市場を運営している楽しい(有)様は、更にこの取り組みを進め、以下の事業展開を計画されています。

- ・農地を開拓し、自社生産野菜の売上アップ
- ・カーニバル2店舗の廃棄物の分別を徹底し、生ごみリサイクルを更に進め、廃棄物10%削減
- ・カーニバル2店舗の食品廃棄物の堆肥化を自ら行い、自社循環のしくみをつくる。また、出来た堆肥を活用した商品を開発し、売上アップを目指す。
- ・規格外野菜を加工し、産直市場で販売、売上アップを目指す。

※3R(スリーアール)とは、以下の3つの語の頭文字をとった言葉で、環境配慮に関するキーワードである。  
Reduce リデュース: ごみの発生抑制 Reuse リユース: 再使用 Recycle リサイクルのこと。

ハチドリ通心(信)は楽しい株式会社のホームページでご覧頂けます。  
URL: [www.fun-c.jp/](http://www.fun-c.jp/) (上村寛が担当しました。)